

学校支援地域本部事業質問集（回答編）

主旨

この質問集は、学校支援地域本部事業を武蔵村山市で行うにあたり、各学校でどのような課題や要望があるかを調べるためのものである。

質問

1 学校支援地域本部事業の活動内容について

- ① 武蔵村山市学校支援地域本部事業が想定する活動内容としては、学校支援ボランティア活動として、「学習支援活動の補助」、「部活動の補助」、「学校図書室の活動ボランティア」、「児童の登下校の安全指導・見守り活動」、「学校内環境教育活動」、「学校行事手伝い」、「学校内児童・生徒相談活動」等を想定しているが、この中で、特に要望する活動はあるか？

小学校

- ・児童の登下校の安全活動を希望する。現在、三ツ藤地区にはボランティアを設置しているが、近年は伊奈平方面から児童が増えており、伊奈平方面には不審者情報も多いので学校としては悩みどころである。

中学校

- ・見守り活動に関しては、小学校に関してはニーズがあると思うが、中学校にはあまり必要ないと思う。中学校のニーズとしては、専門性を求める部活動の指導等になる。
- ・相談活動については、中学生くらいの思春期の生徒に対してはかなりの必要性を感じる。ここ数年は大学生のボランティア（心理専攻）に協力を得ている。大学生の方が、年齢的に近いので生徒が相談しやすいようである。現在は、各学校の校長先生等が大学の研究室と個々に連携をとりながら協力してもらっている。このほうが予算的にもよい。しかし、学校支援地域本部が、連絡調整を行えるようであれば、学校の負担も減ってくるのではないか。

- ② ①で挙げられたほかに要望する活動はあるか？（あったら便利なボランティアでもよい。）

中学校

- ・現在、外部指導者に部活動の指導をお願いしている。今後のことを考えると、いつまで指導を受けられるかわからない。そうなった場合には、現指導者に協力を得て後継者を学校が探さなければならない。これは学校としても負担となるので、学校支援地域本部が人材バンクのような役割で探してもらえると助かる。
- ・職場体験について、国から目標数値が出ているが学校側として職場体験に協力を得られる企業を探すのが難しい。この点にも学校支援地域本部が協力してくれると助かる。

- ③ 理科の実験等、学校の危機管理の面でボランティアの必要性を感じているか？

小学校

- ・教育委員会から補助員の派遣を得ている。現時点で必要性は感じていない。

学校支援地域本部事業質問集（回答編）

2 学校支援ボランティアの活動内容で期待するもの

① 学習支援活動の補助について、専門性を求めるか、アシスタント性を求めるのか？

専門性の例：書道や部活動指導、戦争体験の話、地域の自然に関する学習指導、農作物や植物栽培の指導、伝統芸能の指導 等

アシスタント性の例：校外学習の引率補助、調理実習の補助、教科の採点補助 等

小学校

・伝統芸能には興味がある。しかし、今は絵手紙やお琴体験をしており、伝統芸能ではないがそれに近い活動を行っている。

② 環境支援活動の補助について、専門性を求めるか、アシスタント性を求めるのか？

専門性の例：校舎の補修、飼育小屋づくり、パソコン教室の維持管理、広報活動補助（HP管理等）、植木の剪定 等

アシスタント性の例：学区内のパトロール・見守り、図書室の整理、校舎の窓拭き 等

小学校

・校庭の芝生化に伴い、芝生の管理に詳しい方をお願いしたい。現在は、少年野球チーム、サッカーチームに手入れをお願いしている。しかし、専門的知識がないため限界があるのではないかと心配している。

③ その他の活動について、専門性を求めるか、アシスタント性を求めるのか？

小学校

・水田学習、農作物体験等を充実させたい。

3 学校の取り組みについて

① あなたの学校では、現在、他校にはないような特別な授業・学校行事等の教育活動を行っているか？

小学校

・ふれっチャタイム（絵手紙、英語、国際交流等）、和楽器演奏。

中学校

・司書教諭による読み聞かせ。生徒の読書に関する意欲の変化が見られた。

・保護者を対象にした、食育講座を行っている。生徒だけでなく保護者のスキルアップの場所としたい。

学校支援地域本部事業質問集（回答編）

② ①での教育活動において、ボランティアが必要とされる部分はあるか？

小学校

- ・すでにボランティアを取り入れている。

中学校

- ・他の事業を検討する際にボランティア探しが大変である。また、市内のすべての小中学校でコミュニティスクール事業を発足させるとなると、ボランティアの取り合い、他の事業との重複が起きてしまう。

4 ボランティアの受け入れについて

① 現在、他の事業でボランティアの受け入れをしているか？

小学校

- ・ふれっちゃんタイムでボランティア、市内の高校生が出入りしている。ボランティア探しについても学校が行っている。

中学校

- ・司書教諭が教育委員会より派遣されている。（週に数日）

② 学校支援地域本部を行うにあたり、ボランティア（一般市民）の方が学校に出入りすることになるが、そのことについて何か課題はあるか？

中学校

- ・学習指導のボランティアと教師の指導方法、速度等に違いが出るかもしれないとの声もあるが、目的を決めて指導を行えば問題はないと思う。
例：3年生に対して、復習に重点をおき1，2年生の問題を解かせる。

③ 本市の各種の事業想定内容では、ボランティアが学校内に入ることにより生徒（児童）と教員の関わる時間が増えるとしているが、学校側としてはこのことをどのように捉えているか？

小学校

- ・地域に情報を提供するために、学校から情報発信する方法も検討中である。現状では一部の方にしか情報が行き届いていない。結果としてボランティア探しも大変になる。情報発信の手助けをしてくださる方がいれば地域との連携も取りやすくなるのではないかと考える。
- ・異年齢・異世代の触れ合いがあり、教育的効果は非常に大きい。ただし、学校運営について、教員とボランティアとの綿密な打ち合わせが必要である。

中学校

- ・ボランティアには、ゲストティーチャーのようなものを期待している。